

「馬鹿」の語源：指鹿為馬（しかをさしてうまとなす）

2019/12/30 それでも新年を迎えたい人

年の瀬において、今年を振り返って来年への抱負を語るべきところを、「馬鹿」の語源を取り上げます。その品の無さに顰蹙（ひんしゅく）を買うことを心配するのですが、それ以上に日本の政治に対してその語源がピッタリの馴染み感を得ましたので紹介します。（既にご存知の方には不要の記です。）

「馬鹿」とは愚かなこと（人）の意味ですが、どうして「馬」と「鹿」の字が使われるのでしょうか。調べてみますと、馬鹿はサンスクリット語で「無知」や「迷妄（めいもう）：道理がわからず、事実でないことを事実だと思い込むこと」を意味する「boka」「moha」の音写「莫迦（ばくか）」「募何（ぼか）」が転じたものとされています。従って、「ばか」を「馬鹿」と書くのは当て字と考えられています。

「馬鹿」の語源の俗説の一つに、中国前漢の武帝の時代に司馬遷によって編纂された中国の歴史書「史記・秦始皇本紀」に出てくる故事「指鹿為馬（しろくいば【訓読：しかをさしてうまとなす】）」からとするものがあります。「指鹿為馬」の意味は、「道理に合わないことを、権力を背景に無理に押し通すこと」です。この語源の話が、今の日本政治問題の一面に似たようなところがあり、馴染み感というか、納得感を感じたのです。その話とは、こうです。

中国の秦の始皇帝の死後に、趙高（ちょうこう）は権力を得ようと企んだのですが、多くの臣下（しんか）が従わないのに用心しました。そして、臣下のうち自分の味方と敵を判別するため一策を案じました。彼は宮中に「鹿」を曳いてこさせ『珍しい馬が手に入りました』と皇帝に献じました。皇帝は『これは鹿ではないのか』と尋ねたのですが、趙高が左右の臣下に『これは馬に相違あるまい？』と聞きました。それに対し、おし黙る者や、中には趙高におもねって馬という者もいましたが、鹿と言った者もいました。趙高は鹿と言った者を全て法に引っ掛けてひそかに陥れました。その後、多くの臣下は趙高を恐れ従うようになりました。



おもねる（阿る）は、「自分の気持ちを曲げて、人の喜ぶようなことをしたり言ったりして、気に入られようとすること」です。一方、国内政治問題に関連した言葉に忖度（そんたく）があります。忖度は、「他人の心情を推し量ること、また、推し量って相手に配慮すること」が本来の意味ですが、特に、立身出世や自己保身等の心理から、上司等、立場が上の人間の心情を汲み取り、ここに本人が自己の行為に「公正さ」を欠いていることを自覚して行動することの意味でも使用されています。政治問題で使用される場合は、ほとんどが後の意味合いになっています。

故事「指鹿為馬」の話が今の国内政治問題の一面に似たようなところがあり、馴染み感というか、納得感を得たという私観点は、政治家である自民党の石破茂元幹事長のつい17日前となる今月13日のブログ(Ref.1)にも挙げられていることを知りました。以下にその個所をそのまま、紹介いたします。

「紀元前の中国の王朝・秦の丞相(宰相)であった趙高は、部下の重臣たちの自分に対する忠誠心を試すため、二代皇帝・胡亥の前に鹿を連れてきて『これは珍しい馬です』と言いました。皇帝は『馬ではなく鹿だろう』と言ったのですが、趙高は居並ぶ重臣たち一人一人に『馬に見えるか?鹿に見えるか?』と聞き、彼の権勢を怖れて『馬です』と偽りを言った者はそのまま重用され、正直に『鹿です』と答えた者は難癖をつけられて処刑されてしまいました。その後、趙高に逆らう者は誰もいなくなりましたが、やがて人心は離反し、国は乱れ、遂には楚の項羽によって滅ぼされてしまいました」。

司馬遷の「史記」の中にあるこの話は、「馬鹿」の語源として有名ですが、最近これを耳にすることが多いように思います。今の日本の政治と重ねて語られているとすれば由々しきことです。前回、「政治が嘲笑の、官僚が憐憫の対象となってはならない」と記しましたが、我々は与党の構成員なればこそ、真実を見極め、誤りを糾す誠実さを持たなくてはならないと痛切に思います。

文末メッセージのアンダーラインは原文には無く私が引いたものですが、与党の自民党・公明党に届いて欲しいものです。

余談

故事「指鹿為馬」は、竹島の領有権問題に関して韓国の外相によって引用されたことがあります(Ref.2)。2015年4月8日、韓国・聯合(れんごう)ニュースによると、日本政府が竹島の領有権を主張していることについて、韓国の尹炳世(ユン・ビョンセ)外相が「独島(竹島の韓国名)は歴史的にも法律的にも韓国の領土だ」と述べました。そして、領有権を主張する日本政府について、『**指鹿為馬(＝物事の是非を逆にする、白黒を逆転させる)ということわざ**があるが、鹿を指して馬だと言い張っても話にならない』と述べたのです。

参考文献

Ref.1 石破 茂(いしば しげる) オフィシャルブログ；

<http://ishiba-shigeru.cocolog-nifty.com/blog/2019/12/post-1c1d2d.html>

Ref.2 WOW! Korea 一般記事：韓国長官「独島はわが領土」 日本の領有権主張を一蹴

<https://www.wowkorea.jp/news/korea/2015/0408/10142408.html>